

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 25

(会社名・団体名等)

あてま 森と水辺の教室 ポポラ

連絡先等	(住 所) 〒949-8556 (担当部署等) あてま 森と水辺の教室ポポラ (電話番号等) TEL : 025-758-3863 FAX : 025-758-4158 (URL) https://popora.jp/ https://readyfor.jp/projects/popora
------	--

製品等の名称	「WOODY LAND PARK」 間伐材を活用した自然共生型木育PARK ～ニホンリスを守る森～
製品・取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ■放棄されたスギ林を間伐し、ニホンリスが安心して暮らすことのできる生息空間を創出 ■間伐した森は、生物を観察することが出来るフィールドアスレチック空間として活用 ■間伐材は、森と森を行き来するための通廊（コリドー） & アウトドアフィールドとして活用 ■小さな残材等については、チップ材や木工クラフト製品等で活用し、木育を進めている
製品開発・取組のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ■放棄水田や荒廃した森などの里山再生活動を実践している ■ニホンリスが同じ場所で何度もロードキル（車による轢死）にあっている ■上記の課題を解決するために、環境保全に従事している人だけでなく、幅広い層に普及啓発するために異分野とのコラボや産官民学連携の下、取り組んでいる。 ■生物多様性の保全と持続可能な利用を基本理念とし、当団体が考える木育①森を守る②森で遊ぶ③暮らしに木を取り入れる④地域を活性化する⑤新たな活用方法を見出すことを基本方針として活動している。
製品・取組の内容・特徴	<ul style="list-style-type: none"> ■焼却するような利用価値のない間伐丸太を製材することなく、人力かつ低コストで組み立てる事が出来る（丸太を三又状に組んだ檣）。檣を移動式柱として考え、色々な形状に配置する事で多様な用途に活用可能。 ■モンゴルのゲルやインディアンのティピーのような簡易テントや物置小屋など野外イベントやアウトドアキャンプのフレームとして地域木材を容易に活用でき、自然景観との調和にも有効である。
間伐材の利用量	<ul style="list-style-type: none"> ■供給先：「WOODY LAND PARK」内での利活用や木工クラフトプログラム等に参加頂いた一般客 ■利用量：約1000t（H30. 8月末現在）今後も利用量は増えていく予定です。 ■連 携：津南森林組合や地域の林業関係者、木工クラフト職人の方々からの材料の供給やクラフト商品の提供、また、地元織物産業等異業種と木工商品のコラボによる新しい商品開発等を実施し、国産材（地域材）の積極的な活用を推進している
取組による効果等	<ul style="list-style-type: none"> ■デザインについては、建築系大学とのコラボにより、国宝火焰型土器が発掘されている地域特性を踏まえ縄文時代の竪穴式住居をイメージし、『アート×自然保護』という新たな価値の創造に努めた。また、人力で構築出来るシステムを開発し、ボランティアの方々と共にハードを整備し、整備したフィールドをアウトドア体験など人と自然の共生を目的とした多目的エリアとして幅広い層への普及啓発を進めている。
製品等の写真、図表	